



## 奈良県初、ホームヘルパーのいる引越センター

川端運輸株式会社 奈良県大和郡山市

一般貨物運送を主体とする川端運輸株式会社は、今年8月より高齢者に特化した引っ越しサービスの提供を始めた。

提携する大阪の運輸会社から昨年誘われたのがきっかけだが、川端社長は「価格決定権がない運送業者が多い中、地域密着の強みを生かせるサービスであり、他社との差別化を図れる。なにより、事業として社会に役立つこともできる」と考えた。

家族や福祉施設などからの依頼を受け、老人ホームなど高齢者施設への入退去の際の引っ越しや、亡くなられた方の遺品整理などを行う。

また、顧客に安心していただく仕組みづくりに向け、社長自ら率先してスキルアップに取り組むなど、社員育成に力を入れている。

### 会社概要



会社名：川端運輸株式会社  
本社：奈良県大和郡山市額田部北町 1276-2  
電話：0743-59-6636  
FAX：0743-59-0005  
創業：1964年（昭和39年）12月  
設立：1987年（昭和62年）4月  
代表者：代表取締役 川端 章代  
資本金：1,500万円  
従業員：25名  
事業：貨物自動車運送事業、貨物運送取扱事業



川端運輸株式会社



### 「安全・環境」への積極的な取り組み

川端運輸株式会社は、昭和39年12月、現社長の父が大和郡山市下三橋にて創業。昭和62年4月に法人成りした。

創業当時は地元周辺農家で採れた野菜やフライビーンズの輸送が主な仕事であったが、その後、大手食品メーカーからの大口注文が続くなど徐々に事業拡大を図っていった。

しかし一方で、トラック運送業界は規制緩和が進み、激動の時代に突入していた。同社は他社との差別化を図るため、天然ガス車の導入をはじめ、デジタコ（デジタル運行記録計）のデータやエコドライブチェック表に基づく社員教育を徹底するなど、「安全・環境」問題にいち早く取り組んだ。

その結果、平成16年12月に安全性優良事業所認定、平成17年1月にグリーン経営認証、平成17年・19年・20年には、近畿運輸局優良事業者表彰を受賞している。

### 社内一丸となつての経営改善

現社長は、平成6年より同社の事務を担当していたが、平成20年7月に父である前社長から社長を引き継いだ。

しかし当時、原油価格高騰や排出基準を満たさないトラックの大阪府への流入規制を間近に控えるなど、経営環境は厳しさを増していた。ドライバー経験のない社長は、厳しい時だからこそドライバーも交えみんなと一緒に会社の仕組みをつくらうと考えた。

まず、就任3か月前の平成20年4月、手狭になっていた旧所在地から幹線道路（大和



広大な駐車スペース

中央道)に面した敷地面積の広い現地に会社を移転。交通機能の充実と、荷物の積み替えがスムーズになるなど作業効率の向上を図った。

つぎに、トラックの色を白から、やわらいシルバーピンクの色に変更した。社長は「トラックは単なる道具ではない、



シルバーピンクのトラック

お給料を稼ぐ大切なパートナー。私にとってトラックをドライバーに任せるといふことは、娘を嫁にやる気分です。末永く大切に扱って欲しい」と願う。

さらに、社員一人ひとりが深く考え、社会に役立つ企業になるよう、「経営理念」策定に取り組んだ。その際、製造業を営む知人から「私達はこだわりを持って作った製品を通し、お客様に“感動”を与えている。お客様が箱を開けた瞬間、感動していただければ幸せです」という言葉を聞き、「運送業はその大切な製品を作り手から使い手に運んでいる。つまり、感動を運んでいるのと同じことだ」と考えた。そして完成したのが、下の経営理念である。

#### ～経営理念～

こころを込めて運ぶこと…  
それはただ物を運ぶのではなく  
お客様のこだわりの商品を使われる人々への感動へと、  
お届けする役割と使命を持つこと…。  
運ぶだけのしごとではなく、  
一人ひとりの経験を駆使した技術と、知恵を持って、  
誇りと情熱でお届けしたい…。  
共に人として育ち合い、  
お客様のパートナーとして歩める企業を目指します。

## 高齢者に特化した引越サービス

社会に貢献する企業の一員として社員に誇りを持って欲しいと願う社長は、「価格決定権がない運送業者が多い中、社会に役立つサービスで雇用を維持しながら他社との差別化を図ることはできないか」と考えていた。その中、1県1社の高齢者向け引越サービスの全国展開を図っていた大阪

の運輸会社から提携を打診された。社長は「高齢者向けの仕事は必ず必要になるし、これなら会社のもう一つの柱になる。なにより、社会に役立つことができる」と思い、奈良県で初めて、高齢者施設への入退去の際の引っ越しや亡くなられた方の遺品整理を行うサービスを、「アンジュ引越センター」の名称で平成23年8月より開始した。

「アンジュ」はフランス語で“天使”を表し、これに「安寿」の意味を重ねている。介護施設などにパンフレットを置き、地域に密着した営業活動を展開。最近では司法書士を通じた注文もあるという。

「亡くなられた方の幼い頃の写真整理を行っている」と、正に人生最後のお手伝いをさせていただいている気持ちになる」と社長は語る。



アンジュ引越センター

## 社長が率先してスキルアップを実践

「人が育たないと会社は前進しない。企業が人をつくる」と考える社長は、率先してホームヘルパー2級、物流経営士などの資格を取得し、社員にスキルアップの重要性を示している。実際、ホームヘルパーの勉強を通じて、「高齢者の気持ちが分かるようになった。なにより、お客様に安心いただける。半身が麻痺した方のベッドを部屋のどこに置かなどきめ細かなサービスを行いたい」と話す。

ドライバーへも、エコドライブチェック表の作成管理や危険予知トレーニングを定期的に行うなど、CO<sub>2</sub>排出の抑制や低燃費化を意識した輸送、運送業務改善に取り組んでいる。

「人は仕事の中で気付き、感性が磨かれていく。日々努力が必要だと思います」と語る川端社長。社会に役立つ運送会社を目指し、人材の育成に余念はない。

(岡本 忠、山城 満)